JSSP
since 1973

日本スポーツ心理学会

第52回大会 プログラム

2025年 9/26(金)・27(土)・28(日)

JSSP 2025 52nd Annual Conference Program

同志社大学提供

日本福祉大学

日本福祉大学大学院
スポーツ科学研究科

スポーツ科学 × ふくしの力で スポーツ界をリードする

スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、学校、地域はもとよりスポーツ関連企業やプロスポーツの現場においても、子ども～高齢者、障害のある人やLGBTQの人たちの多様なニーズに応え、スポーツの指導やマネジメントにおいてリーダーシップのとれる人材が求められています。本研究科ではスポーツ科学に関する高度な専門的知識と技術を持ち、さらにこうした社会的ニーズに対応できる高度専門職業人を養成します。
学部卒業後にさらにスポーツ科学の学びと研究を深めたい学生、体育やスポーツ、健康に関わる仕事の中での疑問や課題の答えを導きたい社会人のニーズに応えられる研究科です。

スポーツ分野でのキャリアアップを目指す方におすすめ！

社会人の方も履修しやすくなりました

社会人のキャリアアップを応援する本研究科のカリキュラム

POINT 1

２年間の学費で、３年かけて研究も！学費は３年間での分割納入も可能です。

通常2年の修学期間を3年間に延長する「長期履修制度」の適用が認められた場合、2年間分の学費を3年間で分割納入することができます。

POINT 2

社会人も受講しやすくなります！オンライン受講可＆開講時間が夕方に！

基礎科目、専門科目の多くがオンラインで受講できるようになりました。開講時間も4～6時限（15：05～19：55）に配置し、職場やご自宅での受講がしやすくなります。

スポーツ科学研究科の概要

研究科名：スポーツ科学研究科（Graduate School of Sport Sciences）
専 攻 名：スポーツ科学専攻（Division of Sport Sciences）
学 位 名：修士（スポーツ科学）（Master of Sport Sciences）
入 学 定 員：10名（収容定員20人）
取得可能資格※：中学校教諭専修免許状（保健体育）
高等学校教諭専修免許状（保健体育）

※取得にあたっては、専修免許状の基礎となる1種免許状（保健体育）を取得していること。あるいは、1種免許状（保健体育）を取得見込みであること。

日本福祉大学

●お問い合わせはこちらまでお願いいたします。
日本福祉大学 美浜事務室（スポーツ科学研究科担当）
〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田会下前 35-6
TEL：0569-87-2322（代表）
FAX：0569-87-2273
e-mail：sp-g@ml.n-fukushi.ac.jp

【入学相談会申し込み】
スポーツ科学研究科を▶クリック

資料請求はこちらから▶

目　次

1．はじめに

ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
会場へのアクセス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
会場案内図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
フロアマップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

2．大会参加・発表に関するお願い

大会参加者へのご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
研究発表者へのご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
座長・司会者へのご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

3．スケジュール

9月26日（金）

スポーツメンタルトレーニング指導士全国研修会・・・・・・・・・・・・・・18
理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
会員企画自主シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

9月27日（土）

大会企画講演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
ポスター発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
学会企画シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
総会、学会賞授与式ならびに受賞講演・・・・・・・・・・・・・・・・20
情報交換会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

9月28日（日）

口頭発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
ラウンド・テーブル・ディスカッション・・・・・・・・・・・・・・・21

4．一般発表演題一覧

口頭発表 OA～OC・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
ポスター発表 PA・PB・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

2025年度　日本スポーツ心理学会第52回大会　スケジュール　（於：同志社大学京田辺キャンパス知真館３号館）

9月26日（金）

会場名	階	席数	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	19:00	20:00	21:00
TC3-104	1F	53			休憩室（飲食可）																				
TC3-105	1F				クローク																				
TC3-106	1F																			学会参加受付					
TC3-108	1F	35							資格委員会控室（飲食可）												理事会				
TC3-210	2F	156												SMT指導士研修会3								自主シンポ１			
TC3-213	2F	72			休憩室（飲食可）																				
TC3-214	2F	252									SMT指導士研修会2			SMT指導士研修会４								自主シンポ２			
TC3-215	2F	255				SMT受付	SMT指導士研修会１															自主シンポ３			

9月27日（土）

会場名	階	席数	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	19:00	20:00	21:00
TC3-104	1F	53			休憩室（飲食可）																				
TC3-105	1F			クローク																					
TC3-106	1F			学会参加受付																					
TC3-108	1F	35								新理事の会															
TC3-114	1F							ポスターA奇数				ポスターA偶数		ポスター掲示可・休憩室（飲食可）											
TC3-115	1F							ポスターB奇数				ポスターB偶数		ポスター掲示可・休憩室（飲食可）											
TC3-213	2F	72			休憩室（飲食可）																				
TC3-216	2F	414			大会企画講演											学会企画シンポジウム				総会					
日糧館１Fラッテ										名誉会員昼食会															
日糧館２F同志社大学生協カフェ																						情報交換会			

9月28日（日）

会場名	階	席数	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	19:00	20:00	21:00
TC3-104	1F	53			休憩室（飲食可）																				
TC3-105	1F			クローク																					
TC3-106	1F			学会参加受付																					
TC3-108	1F	35								新理事会															
TC3-114/115	1F				ポスター掲示可・休憩室（飲食可）																				
TC3-210	2F	156			口頭発表C								RTD１												
TC3-213	2F	72			休憩室（飲食可）																				
TC3-214	2F	252			口頭発表B								RTD２												
TC3-215	2F	255			口頭発表A								RTD３												

Ⅰ．はじめに

ご挨拶

会場へのアクセス

会場案内図

フロアマップ

ご挨拶

この度、日本スポーツ心理学会第 52 回大会を、同志社大学京田辺キャンパス・知真館 3 号館にて開催させていただく運びとなりました。

本大会では、大会企画講演、学会企画シンポジウムに加え、口頭発表 17 題、ポスター発表 98 題、会員企画自主シンポジウム 3 題、ラウンド・テーブル・ディスカッション 3 題と、多彩な演題が予定されています。8 月 20 日現在、参加申込み数は 339 名に達しており、多くの皆様にご参加いただけることを大変嬉しく思っております。発表および参加申込みを頂きました皆様に、心より感謝申し上げます。

また、協賛企業の皆様、学会事務局の業務委託先である株式会社サコムの皆様、大会運営にご協力いただいたオフィスモロはんの皆様、そして第52回大会実行委員会の皆様をはじめ、多くの方々のご支援とご尽力に深く感謝申し上げます。

会場となる京田辺キャンパスは、京都市と奈良市の中間に位置し、京都駅から電車・バスで約 35～40 分ほどの距離にあります。周辺は、約 1500 年前の西暦 511 年から約 7 年間、第 26 代継体天皇によって「筒城宮」を置いたとされる歴史ある地でもあります。なだらかな丘陵に佇むこのキャンパスにて、学術的交流と新たな知見を得る機会にしていただければ幸いです。

学会企画シンポジウムでは、「科学と実践現場のモヤモヤ：結果が出せるスポーツ心理学」をテーマに議論を深め、大会企画講演では、ヒューマン・モティベーションの基礎研究から教育現場の実践研究まで幅広く展開されている田中あゆみ先生（同志社大学心理学部教授）をお迎えし、「ヒューマン・モティベーション研究と自律性支援」についてご講演いただきます。

なお、ポスター発表につきましては、第51回大会と同様に、スポーツ心理学の多岐にわたる分野の研究を知り、交流を深めていただくため、テーマ別の配列ではなくランダムな配列といたしました。

本大会が、皆様にとって学術的交流と新たな知見を得る実り多い機会となることを心より願っております。

日本スポーツ心理学会第 52 回大会実行委員長
同志社大学　石倉忠夫

会場へのアクセス

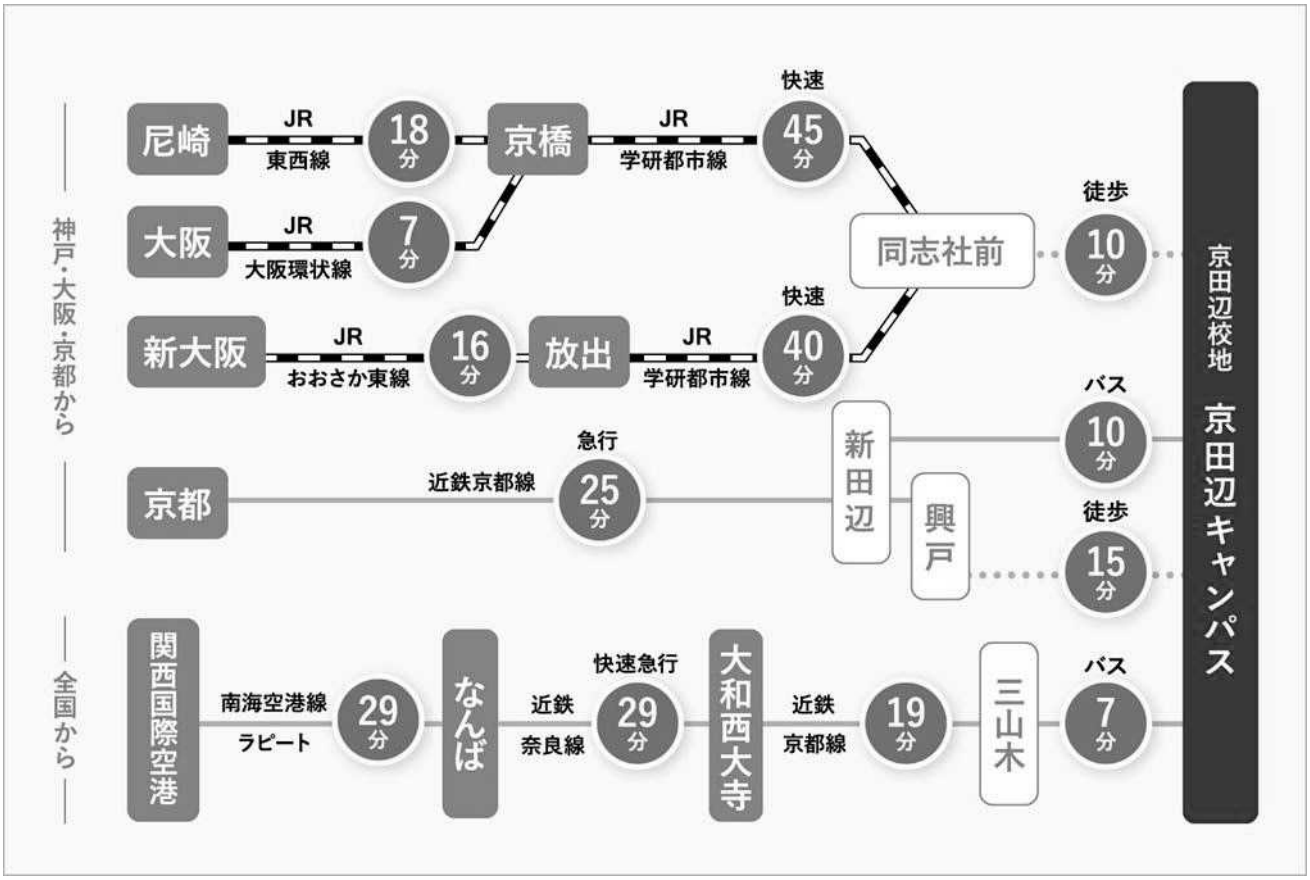
大会会場

同志社大学京田辺キャンパス　知真館３号館

〒610-0394　京都府京田辺市多々羅都谷 1-3

https://www.doshisha.ac.jp/information/kyotanabe/index.html

会場へのアクセス



近鉄京都線…「興戸」駅から徒歩 15 分

近鉄京都線…「新田辺」駅からバス・タクシーで 10 分

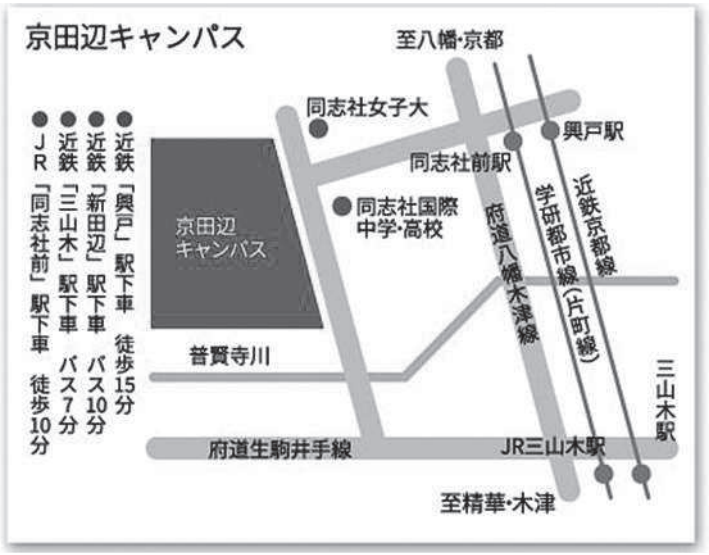
近鉄京都線…「三山木」駅からバスで 7 分

JR 学研都市線…「同志社前」駅から徒歩 10 分

学会期間中は開講日のダイヤになります。

※バス運行表： https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/index.html#buss_timetable

会場案内図



※1 ラーネッド記念図書館とローム記念館（いずれも１階にフリースペースあり）は日曜日閉館

※2 光館は大会期間中 9：00～17：00 まで開館（同志社の歴史資料が展示されています）

【日糧館】
1F
<u>生協売店営業時間</u>
26日(金) 10:00～17:00
<u>アマーク・ド・パラディ・ラッテ営業時間</u>
26日(金) 11:00～20:00(LO 19:30)
27日(土) 11:00～15:00(LO 14:30)

◎学会イベント
名誉会員昼食会
27日(土) 12:00～13:00@<u>1F</u>アマーク・ド・パラディ・ラッテ
情報交換会
27日(土) 18:00～20:00@<u>2F</u>同志社大学生協カフェ

【紫苑館】
<u>生協食堂営業時間</u>
26日(金) 11:00～19:00
27日(土) 11:00～14:00
28日(日) 11:00～13:30※
※メニュー数少

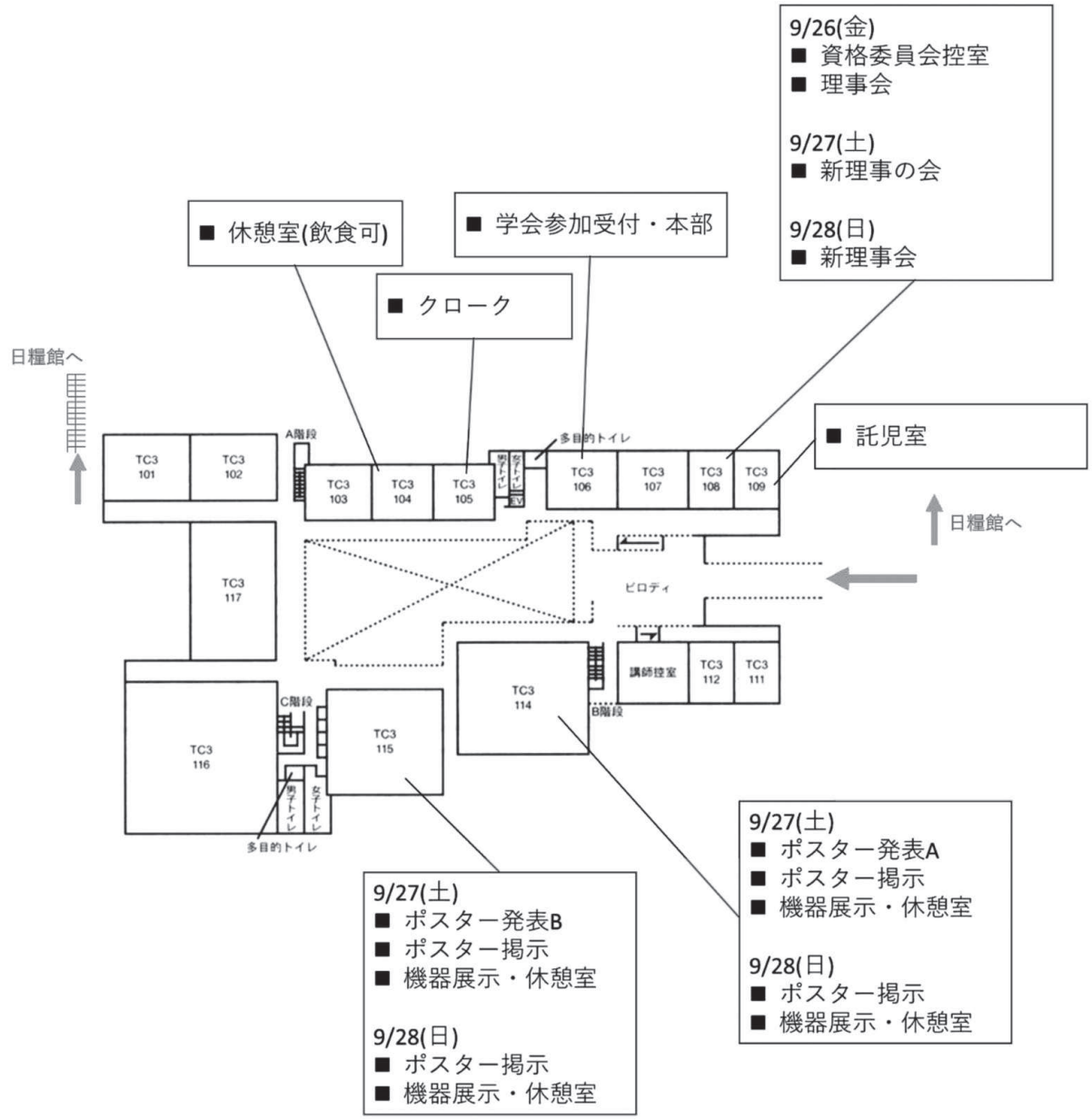
Wi-Fi
@学会会場全教室
@ラーネッド記念図書館
@ローム記念館GF・1F
@光館ギャラリー

@ローム記念館GF
@日糧館1F生協売店入口

京田辺キャンパス周辺にはコンビニエンスストアやお食事のできる店はございません。
また、28日(日)にお食事ができる学内施設は生協食堂(紫苑館)のみでメニュー数が限られます。ご不便をおかけいたしますがご了承くださるようお願いいたします。

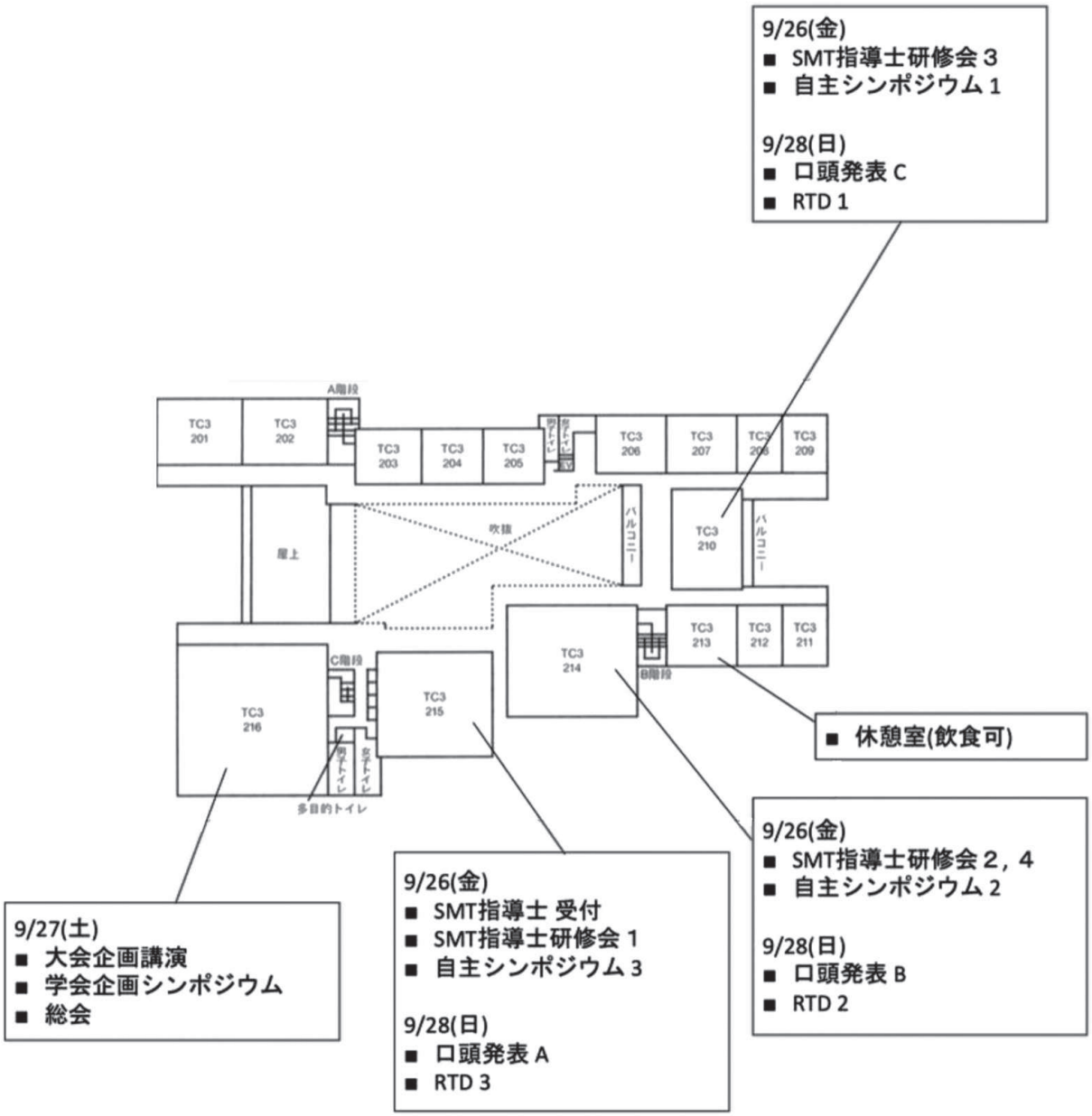
フロアマップ

知真館３号館 １階



※全館Wi-Fiが使用可能です

知真館３号館 ２階



※全館Wi-Fiが使用可能です

２．大会参加・発表に関するお願い

大会参加者へのご案内

研究発表者へのご案内

座長・司会者へのご案内

大会参加者へのご案内

１．受付

- 受付場所は１階 TC3-106 です。受付時間は以下の通りです。
  ９月 26 日（金）：16 時 30 分～18 時 00 分
  ９月 27 日（土）： ８時 30 分～18 時 30 分
  ９月 28 日（日）： ８時 30 分～13 時 00 分
- 受付時に参加証をお渡しします。原則、再発行は致しませんので紛失しないようご注意ください。また、受付時にネームカード（参加証）をお渡しします。会場に入場される際、ならびに情報交換会に参加される際には必ずネームカードを着用してください。カードに記載された情報をもとに入場確認をいたしますので、大会中は必ず着用していただきますよう、よろしくお願いいたします。
- 大会参加にあたりましては、９月 12 日（金）15 時までに事前の web 登録をお願いいたします。会場の都合により当日参加はできませんのでご注意ください。

＜大会参加費＞

会員（一般）8,000 円／会員（大学院生）2,000 円
非会員（一般）10,000 円／非会員（大学院生）5,000 円

＜情報交換会参加費＞

会員・非会員（一般）4,000 円／会員・非会員（大学院生）1,000 円

＜研究発表抄録集＞

一冊 2,000 円（事前申込者には発送済み）

- 学会開催当日は会場の都合により抄録集を販売できませんので、事前に web にてお申し込みください。

２．会場について

- クローク：大会期間中、１階 TC3-105 にクロークを用意しています。ただし、貴重品および機材（PC、携帯電話など）等についてはお預かりできませんのであらかじめご了承ください。
  クローク利用時間は、以下の通りです。
  ９月 26 日（金）： ９時 30 分～20 時 30 分
  ９月 27 日（土）： ８時 30 分～20 時 30 分
  ９月 28 日（日）： ８時 30 分～15 時 00 分
  クロークの終了時間をお守りくださいますようお願いいたします。

- 喫煙：同志社大学では、望まない受動喫煙を許容しない方針のもと、2020 年４月からキャンパス内は全面禁煙を実施していますが、他者に迷惑となるキャンパス外近隣での喫煙防止及び火災等の発生リスクをなくす危機管理の観点から、2022 年 6 月 7 日以降、学内数箇所に卒煙スポット（特定屋外喫煙場所）を設置しています。京田辺キャンパスでは西駐車場（知真館３号館横）に設置しています。卒煙スポット以外での喫煙がないようお願いいたします。
- 機器展示：9 月 27 日（土）と 28 日（日）に 1 階 TC3-114 ＆ 115 にて行います。
- 休憩室：ご歓談・ご飲食いただけるスペースとして、 1 階 TC3-104、TC3-114 ＆ 115（ポスター発表の時間外）、２階 TC3-213 をご利用ください。
- 9 月 27 日（土）の情報交換会は知真館３号館隣の日糧館２階「同志社大学生協カフェ」で行います。

３．Free Wi-Fi について

- 同志社大学京田辺キャンパスでは Free Wi-Fi がご利用できます。受付時に ID とパスワードをお渡しします。使用できる場所は会場案内図をご覧ください。

４．食事について

- 京田辺キャンパス内では、生協およびアマーク・ド・パラディ・ラッテが営業しています。
  - 同志社大学生協食堂（紫苑館）
    26 日（金）11：00～19：00　27 日（土）11：00～14：00　28 日（日）11：00～13：30
  - アマーク・ド・パラディ・ラッテ
    26 日（金）11：00～20：00　27 日（土）11：00～15：00
- 京田辺キャンパス周辺には飲食店やコンビニはございません。

５．大会会場での写真・ビデオ撮影等について

本学会大会では、大会会場での写真・ビデオ等の撮影および録音は、一切認めておりません。したがいまして、本大会会場での口頭発表、ポスター発表、シンポジウム、ラウンド・テーブル・ディスカッションの撮影・録音等はご遠慮くださいますようお願いいたします。

なお、学会事務局や大会事務局が大会の記録のために、写真・ビデオ等の撮影を行うことがあります。ご了承ください。

６．お車によるご来場について

本学会大会では、大会参加者の皆様にはお車でのご来場はお控えくださるようにお願い申し上げます。

なお、お身体のご事情などでお車でのご来場が必要な場合は、事前に大会実行委員会（conf@jssp.jp）までご連絡ください。

研究発表者へのご案内

- 本大会では発表証明書を発行することが可能です。ご希望の方は事前に大会実行委員会（conf@jssp.jp）へご連絡ください。

シンポジウム・RTD・一般発表（口頭発表）の演者の皆様へ

１．発表およびスライド作成に関して（機材、ソフトウエアなど）

- 各会場にはパソコンとプロジェクターを１台ずつ用意いたします。パソコンの OS は Windows11 で、PowerPoint を利用することができます。プロジェクターの入力端子は HDMI です。各会場の備付のパソコンを使用する場合、発表受付時に USB メモリを用いて発表スライドのファイルを備付のパソコンに入れてください。Mac をご利用の場合は、変換コネクタを含めご自身でご用意ください。

２．配布資料を利用される場合

- 大会本部では、配布資料の印刷をお引き受けすることはできません。配布資料をご利用の場合は、当日の必要部数をご持参いただきますようお願いいたします。

３．発表受付

- 一般発表（口頭発表）の演者の方は、9 月 27 日（土）8：30～18：30 の間の**受付**にて、もしくは 9 月 28 日（日）8：30～8：50 の間に**発表会場**にて発表受付をお済ませください。セッションの際は、前の演題の発表開始時に、次演者席にご着席ください。

４．発表時間（一般発表（口頭発表））

口頭発表は、１演題につき 19 分（発表時間 14 分、質疑応答 5 分）です。

12 分経過・・・1 回目♪
14 分経過・・・2 回目♪♪
19 分経過・・・3 回目♪♪♪（質疑応答打ち切り）
♪：ベル音

一般発表（ポスター発表）の発表者の皆様へ

１．ポスターの作成

- 掲示パネルは、縦 161 ㎝×横 82 ㎝（縦長）の寸法です。
- ポスターを画鋲で貼り付けるタイプの掲示パネルです。画鋲は大会実行委員会が用意いたします。
- ポスター上部に、演題名、発表者名、共同研究者名、所属をご明示ください。

２．発表受付

- PA、PB の各セッションの開始 10 分前までに、ポスター発表会場前の受付にて発表受付をお済ませください。

３．発表

- ポスターの掲示可能時間、責任着座時間は以下の通りです。お早目に掲示してください。

２階 TC3-114　A 会場

演題番号	掲示可能時間	責任着座時間
PA　奇数番号	8 時 45 分～	10 時 45 分～12 時 00 分
PA　偶数番号	8 時 45 分～	13 時 00 分～14 時 15 分

２階 TC3-115　B 会場

演題番号	掲示可能時間	責任着座時間
PB　奇数番号	8 時 45 分～	10 時 45 分～12 時 00 分
PB　偶数番号	8 時 45 分～	13 時 00 分～14 時 15 分

- 各パネルの上部に演題番号が表示されておりますので、当該のパネルをご使用ください。
- ポスターセッション終了後（9 月 27 日の 14 時 15 分以降）ポスターを撤去していただいても結構ですが、翌日（9 月 28 日）の 14 時 45 分まで掲示可能です。大会参加者には大会期間中、他のプログラムと並行してポスター会場にご入室いただけます。9 月 28 日の 14 時 45 分を過ぎましたら、速やかにポスターの撤収をお願いいたします。それよりも早く撤去していただくことも可能です。

大会発表賞について

- 日本スポーツ心理学会第 52 回大会における一般発表を対象として、学会の審査委員会による評価を実施し、優秀発表を選出します。最高評価を得た発表を最優秀発表賞、その他の発表を優秀発表賞とし、大会終了後３週間以内に、受賞者に通知するとともに、学会ウェブページで公告します。

座長・司会者へのご案内

口頭発表座長の皆様へ

- 大会参加の受付時に、座長を担当する旨を大会スタッフにお伝えください。
- 担当セッションの開始 15 分前までに、発表会場にお越しください。
- 各会場には、タイムキーパー兼パソコン・プロジェクター管理補助者 1 名、マイク係 2 名を配置いたします。
- 終了時刻の厳守にご協力をお願いいたします。

自主シンポジウム・RTD の司会者の皆様へ

- 各セッションの進行は、司会者・企画者のご裁量にお任せいたします。
- 各会場に、タイムキーパー、マイク係は配置されませんのでご注意ください。
- 終了時刻の厳守にご協力をお願いいたします。

３．スケジュール

9 月 26 日（金）

9 月 27 日（土）

9 月 28 日（日）

9月26日（金）

■ スポーツメンタルトレーニング指導士全国研修会　（２階　TC3-214・215）

9時45分～10時15分　受付　（２階　TC3-215前）

午前　（２階　TC3-215）

10時15分～10時30分　資格委員会委員長挨拶：荒井　弘和　（法政大学）

10時30分～11時30分

■ 研修会（セッションⅠ）：講演

「スポーツメンタルトレーニングを倫理的に考える
―正答はなくとも決断するために―」

司会：内田　若希　（九州大学）

講師：吉原　啓　　（麗澤大学）

午後

12時30分～14時00分

■ 研修会（セッション２）：レクチャー&ワークショップ　（２階TC3-214）

「多重関係をめぐる哲学対話」

司会・話題提供者：中山　亜未　（大阪体育大学）
内田　若希　（九州大学）

コメンテーター：　吉原　啓　（麗澤大学）

14時10分～16時40分

■ 研修会（セッション３）：事例検討（資格取得者限定）※上限150名
（２階　TC3-210）

「　未　定　」

14時10分～16時25分

■ 研修会（セッション４）：ワークショップ　（２階　TC3-214）

「チームについて考える―関わる際のポイント、検討方法について」

司会・話題提供者：福井 邦宗　（日本福祉大学）

17時00分～18時00分

■ 理事会　（１階　TC3-108）

9月26日（金）

18時00分～20時00分

■ 会員企画自主シンポジウム１　（２階　TC3-210）

「進む部活動の地域展開―求められる教育的意義に対してスポーツ心理学の専門家はどのように貢献できるか―」

企画・司会：　高山　智史　（長野大学）
話題提供者：　平田　大智　（関西学院大学大学院）
　　高山　智史　（長野大学）
　　平　真由子　（金沢工業大学）

■ 会員企画自主シンポジウム２　（２階　TC3-214）

「HPSC とスポーツ心理学会との連携・協働の在り方を考える
―Psychological Support Specialist 会議に向けて―」

企画・司会：　冨永　哲志　（日本スポーツ振興センター、ハイパフォーマンススポーツセンター、国立スポーツ科学センター）
話題提供者：　大坪　香菜子　（日本スポーツ振興センター、ハイパフォーマンススポーツセンター、国立スポーツ科学センター）
　　奥野　真由　（久留米大学）
　　千葉　陽子　（新潟医療福祉大学）

■ 会員企画自主シンポジウム３　（２階　TC3-215）

「専門家の在り方
～スポーツメンタルトレーニング指導士×アスリート兼大学院生×指導者～」

企画：　筒井　香　（株式会社 BorderLeSS）
司会者：　笹塲　育子　（立命館大学）
話題提供者：　筒井　香　（株式会社 BorderLeSS）
　　新田　恵子　（広島大学大学院）
　　酒井　啓輔　（東レアローズ静岡、立命館大学大学院）
　　伊藤　瑞希　（OsakaCitySC）

9月27日（土）

9時00分～10時30分

■ 大会企画講演　（２階　TC3-216）

「スポーツで活かすヒューマン・モティベーション研究－自律性の支援に向けて－」

演者：　田中　あゆみ（同志社大学）

指定質問者：　幾留　沙智　（鹿屋体育大学）

司会：　石倉　忠夫　（同志社大学）

10時45分～12時00分

■ ポスター発表PA・PB：奇数番号　（１階　TC3-114・115）

12時00分～13時00分

■ 新理事の会　（１階　TC3-108）

13時00分～14時15分

■ ポスター発表PA・PB：偶数番号　（１階　TC3-114・115）

14時30分～16時30分

■ 学会企画シンポジウム　（２階　TC3-216）

「科学と実践現場のモヤモヤ：結果が出せるスポーツ心理学」

司会：　堀野　博幸（早稲田大学）

話題提供者：　栗林　千聡（東京女子体育大学）

「ハイパフォーマンスアスリートへのサポート

－女性支援者としてのモヤモヤ」

下園　博信（福岡大学）

「コーチング・スポーツ心理学と競技力のモヤモヤ」

田中　美史（武庫川女子大学）

「実践⇔研究の成果とモヤモヤ」

指定討論者：　土屋　裕睦（大阪体育大学）

坂入　洋右（常葉大学）

16時45分～17時45分

■ 総会、学会賞授与式ならびに受賞講演　（２階　TC3-216）

18時00分～20時00分

■ 情報交換会　（日糧館２階　同志社大学生協カフェ）

9月28日（日）

9時00分～10時20分

■ 口頭発表Ⅰ （２階　TC3-215・214・210）

OA-Ⅰセッション（TC3-215）　座長：畝中　智志（北翔大学）

OB-Ⅰセッション（TC3-214）　座長：直井　愛里（近畿大学）

OC-Ⅰセッション（TC3-210）　座長：江田　香織（東洋大学）

10時40分～11時40分

■ 口頭発表Ⅱ （２階　TC3-215・214）

OA-Ⅱセッション（TC3-215）　座長：國部　雅大（筑波大学）

OB-Ⅱセッション（TC3-214）　座長：煙山　千尋（岐阜聖徳学園大学）

12時00分～13時00分

■ 新理事会 （１階　TC3-108）

13時00分～14時30分

■ ラウンド・テーブル・ディスカッション１ （２階　TC3-210）

「スポーツにおける暴力問題を問い直す　―心理学的研究・実践のこれまでとこれから―」

企画・司会：豊田　隼　（東京大学・日本学術振興会）

話題提供者：内田　遼介　（流通科学大学）

伊藤　麻由美　（帝塚山大学）

久保　昂大　（熊本学園大学）

指定討論者：土屋　裕睦　（大阪体育大学）

■ ラウンド・テーブル・ディスカッション２ （２階　TC3-214）

「身体パフォーマンスにおける「からだ」と「こころ」のインタラクション」

企画・司会：工藤　和俊　（東京大学大学院）

話題提供者：工藤　和俊　（東京大学大学院）

向井　香瑛　（名古屋大学）

古川　大晃　（京都工芸繊維大学）

■ ラウンド・テーブル・ディスカッション３ （２階　TC3-215）

「スポーツメンタルトレーニング指導士の研鑽としての事例検討を考える

―PCAGIP 法に基づく新しい事例検討の方法論―」

企画・司会：菅生　貴之　（大阪体育大学）

話題提供者：菅生　貴之　（大阪体育大学）

浅野　友之　（奈良女子大学）

前田　凌汰　（和歌山県立医科大学げんき開発研究所）

指定討論者：東山　明子　（大阪商業大学）

４．一般発表演題一覧

口頭発表

ポスター発表

9月28日（日）
口頭発表　OA-Ⅰセッション

9時00分～10時00分
会場：２階　TC3-215

座長：畝中　智志（北翔大学）

OA-Ⅰ-1

量子的視点に基づくFittsのタッピング課題の開発と運動制御特性の検討 −ランダム性が運動の情報処理に及ぼす影響−	村上　宏樹	（金城大学）
	山田　憲政	（中京大学）

OA-Ⅰ-2

重力による認知的バイアスが運動時間見積もりに及ぼす影響	奥内　蒼馬	（京都大学大学院）
	久代　恵介	（京都大学大学院）

OA-Ⅰ-3

走行中の聴覚刺激によるピッチ変化と持続的影響―ランニング経験の有無による比較―	小笠原　倫汰	（東京大学大学院）
	女川　亮司	（東京大学大学院）
	古川　大晃	（京都工芸繊維大学）
	工藤　和俊	（東京大学大学院）

9月28日（日）
口頭発表　OA-Ⅱセッション

10時40分～11時40分
会場：２階　TC3-215

座長：國部　雅大（筑波大学）

OA-Ⅱ-1

柔道競技の組手における運動切替の熟練差	高野　綺海　（東京学芸大学大学院）

OA-Ⅱ-2

スポーツにおける予測認知の身体性 -サッカーのパスコース予測課題を用いた熟達差の検討-	中村　統　（東京大学大学院） 女川　亮司　（東京大学大学院） 工藤　和俊　（東京大学大学院）

OA-Ⅱ-3

フェイントに対する反応抑制の精神生理学的検討	木村　勇大　（早稲田大学大学院） 正木　宏明　（早稲田大学）

9月28日（日）
口頭発表　OB-Ⅰセッション

9時00分～10時20分
会場：２階　TC3-214

座長：直井　愛里（近畿大学）

OB-Ⅰ-1

起床時コルチゾール反応/DHEA反応を指標にしたバーンアウト傾向の評価―ストレス/リカバリーの概念に着目して―

門岡　晋　（金沢星稜大学）
菅生　貴之　（大阪体育大学）
土屋　裕睦　（大阪体育大学）

OB-Ⅰ-2

アスリートにおけるメンタルヘルスケア行動の障壁と構造的背景 -新たなケアモデルの提案

小塩　靖崇　（東京大学大学院）
工藤　和俊　（東京大学）

OB-Ⅰ-3

大学男子アスリートにおける受傷状況と心理的要因の関係 -外傷および障害の違いに着目して-

田島　勇人　（日本大学大学院）
持田　慶貴　（日本大学大学院）
小山　貴之　（日本大学・非会員）
佐久間　智央　（日本大学）
髙橋　正則　（日本大学）

OB-Ⅰ-4

個人のチームの心理的安全性の認識とバーンアウトの縦断的関連

甲谷　勇平　（慶應義塾大学大学院）
佐藤　優介　（慶應義塾大学大学院・非会員）
白坂　成功　（慶應義塾大学大学院・非会員）

9月28日（日）
口頭発表　OB-Ⅱセッション

10時40分～11時40分
会場：２階　TC3-214

座長：煙山　千尋（岐阜聖徳学園大学）

OB-Ⅱ-1

コーチのセキュアベース・リーダーシップとアスリートのフォロワーシップがチームパフォーマンスの認知を予測する統合モデルの提案

松原　旭飛　（日本体育大学大学院）
高井　秀明　（日本体育大学）

OB-Ⅱ-2

日本語版Life Skills Scale for Sport（LSSS）の開発―学生アスリートを対象とした信頼性・妥当性の検討―

藤島　将太　（近畿大学大学院）
西田　順一　（近畿大学）
直井　愛里　（近畿大学）

OB-Ⅱ-3

大学生女子アスリートの心理特性を理解するためのモデルの作成

大山　紀子　（武庫川女子大学大学院）

9月28日（日）
口頭発表　OC-Ⅰセッション

9時00分～10時20分
会場：２階　TC3-210

座長：江田　香織（東洋大学）

OC-Ⅰ-1

スポーツファンにおける外集団脅威と内集団ひいき –所属集団の性質に基づく比較検討–　　中川　裕美　（北海学園大学）

OC-Ⅰ-2

プレッシャー下における高パフォーマンスの発揮を促す要因―陸上競技におけるクラッチの発現プロセスの探求―　　山科　真之介　（神戸大学大学院）

OC-Ⅰ-3

成績志向性と熟達志向性の相互作用 –エリートアスリートの質的研究–　　新田　恵子　（広島大学大学院）

OC-Ⅰ-4

試合中の優劣関係はパフォーマンスを左右するのか？―主観的な競争段階と制御焦点を踏まえて―　　清水　登大　（筑波大学大学院）
外山　美樹　（筑波大学）

9月27日（土）
ポスター発表PA

10時45分～12時00分　奇数番号
13時00分～14時15分　偶数番号

■　ポスター発表1階（TC3-114）

PA01
地域高齢者における転倒予防自己効力感と運動機能との関連―体力測定データを用いた横断的検討―
陳　昱龍（至誠館大学）
丸谷　賢弘（関西大学・非会員）
藤田　和樹（大阪大学・非会員）

PA02
起床時刻を揃えることがメンタルヘルスに及ぼす影響 ～大学生アスリートを対象として～
井上　快星（北翔大学大学院）

PA03
2人一致タイミング課題の学習における正確さへのストラテジー
橋本　晃啓（広島修道大学）

PA04
思考記録表に取り組んだ大学競泳選手は何を感じたのか？
林　真子（法政大学大学院）

PA05
課題前の心身調整法の違いが心理状態と認知課題成績に及ぼす影響
松浦　佑希（宇都宮大学）
坂入　洋右（常葉大学）

PA06
スポーツドラマチック体験とレジリエンスの関連―反芻・省察による差異―
堤　愛美子（九州大学大学院）
久保　昂大（熊本学園大学）
杉山　佳生（九州大学）

PA07
ヨーガ療法を通じての身体的共鳴の可能性 －相談事例を通して－
加藤　千恵子（東洋大学）
鈴木　壯（中部学院大学）

PA08
イップスを訴える大学生野球選手への運動イメージ介入の効果
坂本　倫太郎（立命館大学大学院）
笹塲　育子（立命館大学）

PA09
選手たちによるコーチのサーバントリーダーシップ認知の「ばらつき」は悪影響？―マルチレベル SEM を用いたチーム・個人レベルの検証―
高松　祥平（兵庫県立大学）

PA10
サッカー「あがり」の要因についての研究
都田　典弥（東洋大学大学院）
加藤　千恵子（東洋大学）

PA11
7%の大学生アスリートが SNS で誹謗中傷された経験を有している
荒井　弘和（法政大学）

PA12
競技経験のある大学生におけるセルフトークがパフォーマンスに及ぼす影響
野村　直希（東洋大学大学院）
加藤　千恵子（東洋大学）

PA13
スポーツマウスガードの使用行動に対するソーシャルサポートと変容ステージの関連性の検討
尼崎　光洋（愛知大学）
永峰　大輝（東京女子医科大学）
煙山　千尋（岐阜聖徳学園大学）
神力　亮太（常葉大学）

PA14
移動視覚刺激の消失点記憶にともなう将来方向偏倚・表象的慣性～消失点における刺激停留と保持時間の影響～
杉　卓洋（東京都立大学大学院）
石原　正規（東京都立大学）
今中　國泰（東京都立大学）

PA15

大学陸上競技者への心理ネットワークアプローチを用いた支援事例

並木　伸賢　（新潟医療福祉大学）
八斗　啓悟　（筑波大学大学院、日本学術振興会）
上田　寛　（広島大学大学院、日本学術振興会）
清水　登大　（筑波大学大学院）

PA16

知的障害のあるアスリートのメンタルヘルスを目的とした心理支援に向けたストレスチェックリストの開発と予備的検討

高士　真奈　（桜美林大学大学院）

PA17

上肢到達運動の客観および主観における Fitts の法則 適合性の評価― 運動イメージにおける難しさと運動時間の関係性 ―

久代　恵介　（京都大学大学院）
奥内　蒼馬　（京都大学大学院）

PA18

大学生アスリートの受傷経験がもたらす心的外傷後成長について―パーソナリティとの関係性に着目して―

本田　夕海　（同志社大学大学院）
石倉　忠夫　（同志社大学）

PA19

部活動地域展開に関わる指導者の信念とロールフレーム

神力　亮太　（常葉大学）

PA20

親の期待と高校生アスリートのメンタルヘルスの関連性

石井　結衣　（近畿大学大学院）
直井　愛里　（近畿大学）

PA21

野球における捕手の背景距離の違いが投手の距離知覚とパフォーマンスに与える影響

兄井　彰　（福岡教育大学）

PA22

高校生バレーボーラーにおけるライフスキルとバーンアウトの関係

時田　晃佑　（法政大学大学院）

PA23

VR ハンドにおける運動主体感と動作 self-control および自我消耗との関連−情動表出の自我消耗視点からの予備的検討−

来間　千晶　（東京国際大学）

PA24

大学ウエイトリフティング選手における試技の成否パターンからみた心理的スキルの検討

持田　慶貴　（日本大学大学院）
田島　勇人　（日本大学大学院）
髙橋　正則　（日本大学）

PA25

アスリートにおける制御焦点と熱望・警戒イメージの制御適合

相川　　聖　（関西学院大学）
高井　秀明　（日本体育大学）
平山　浩輔　（帝京平成大学）

PA26

高校柔道指導者における指導の考え方を獲得するプロセス―指導経験による人間形成を目的とした指導に着目して―

柴田　大地　（日本体育大学大学院）
高井　秀明　（日本体育大学）

PA27

大学合気道授業における楽しさと健康生活スキルの関連

園部　豊　（帝京平成大学）
平山　浩輔　（帝京平成大学）

PA28

アスリートが認識する援助要請に対するスティグマ−自己・チーム・社会という階層性と援助要請の種類に注目した探索的検討−

伊藤　萌々子　（筑波大学大学院）
雨宮　怜　（筑波大学）

PA29

大学ラグビー選手のポジションによる人柄類型および食行動に関する検討

保井　智香子　（立命館大学）
東山　明子　（大阪商業大学）
船越　正康　（大阪教育大学）

PA30

個人競技のパフォーマンスと帰属意識の関係性に対する指導者の認識－陸上競技指導者へのインタビューによる質的検討－

中村　詠美　（北翔大学大学院）
畝中　智志　（北翔大学）

PA31

アマチュア野球審判員の心理的スキルについて

西貝　雅裕　（太成学院大学高等学校）

PA32

競技専心性および競技充実感が大学アスリートのメンタルヘルスに及ぼす影響

鈴木　凪　（近畿大学大学院）
西田　順一　（近畿大学）

PA33

刺激の色操作がフランカー課題のパフォーマンスに与える影響 –サッカーのキッカー画像を用いた検討–

坂部　崇政　（京都教育大学）

PA34

サッカーにおけるゴール付近での視覚探索方略の検討 –ヘッドマウントディスプレイによる映像呈示を通して–

近藤　克磨　（筑波大学大学院）
國部　雅大　（筑波大学）
上野　壮士朗　（筑波大学大学院）
三枝　徹平　（筑波大学大学院）

PA35

アスリートのパフォーマンス向上に寄与する香りの力 ―香りが注意資源配分に与える影響と競技経験との関連性―

志水　弘典　（株式会社マンダム）
中本　浩揮　（鹿屋体育大学）

PA36

指導者からスポーツ選手に伝えた言葉かけとその記憶がパフォーマンスに及ぼす影響

吉川　智慧子　（日本大学大学院）

PA37

観察学習における映像選択が学習者の瞳孔散大へ及ぼす影響

廣光　佑哉　（大阪電気通信大学）
石倉　忠夫　（同志社大学）

PA38

アスリートの怪我に対する早期警戒信号の探索 –コンディショニングデータの動的複雑性の観点から–

八斗　啓悟　（筑波大学大学院、日本学術振興会）
清水　登大　（筑波大学大学院）
菅原　大地　（筑波大学・非会員）

PA39

Minecraft 課題の実施に伴う協調行動とパーソナリティとの関連

折茂　紗英　（日本体育大学）
高井　秀明　（日本体育大学）

PA40

報酬・損失の有無と心理特性の相互作用によってリスク選択が変化する

上野　壮士朗（筑波大学大学院）
三枝　徹平　（筑波大学大学院）
近藤　克磨　（筑波大学大学院）
國部　雅大　（筑波大学）

PA41

大学生アスリートにおける自己に対する不合理な信念の因子構造の検討

伊藤　英之　（國學院大學）

PA42

片足立位課題遂行時の注意焦点と固視点の高さの違いが脳波活動に及ぼす影響

宮口　貴義　（金沢大学大学院）
村山　孝之　（金沢大学）

PA43

被体罰経験者が体罰を再認識する心理プロセスの検討

伊藤　麻由美（帝塚山大学）

PA44

コーチと競技者の関係性が社会的アイデンティティに与える影響 −大学生ラクロス部を縦断的に検討して−

黒木　彩未　（大阪体育大学大学院）

PA45

スポーツチームにおけるチームワークと集団凝集性および集合的効力感との関連

藤本　太陽　（大阪産業大学）

PA46

ラグビーのアタック局面におけるディフェンスラインへの視線行動の特徴 −ヘッドマウントディスプレイを用いた検討−

國部　雅大　（筑波大学）
近藤　克磨　（筑波大学大学院）
三枝　徹平　（筑波大学大学院）
上野　壮士朗（筑波大学大学院）

PA47

防衛的悲観主義を利用するアスリートのパフォーマンス発揮のメカニズムに関する予備的検討	高橋　由衣	（日本体育大学大学院）
	高井　秀明	（日本体育大学）

PA48

プレゼンティーイズムに至る過程とその後の様相 -Biographical Presenteeism Mapping 法を用いた事例的検討-	酒井　佑	（筑波大学大学院）
	雨宮　怜	（筑波大学）

PA49

変動を用いた運動学習時における脳波 α パワの変化	井ノ山　琉人	（早稲田大学大学院）
	正木　宏明	（早稲田大学）

9月27日（土）
ポスター発表PB

10時45分～12時00分　奇数番号
13時00分～14時15分　偶数番号

■　ポスター発表1階（TC3-115）

PB01
アスリートのソーシャル・サポート互恵性の特徴と脳構造・神経ネットワーク　余村　花梨　（新潟医療福祉大学大学院）

PB02
投球フォームの閾下動画刺激が球種判断に与える影響 -アスリートと素人の比較-　宮本　聡介　（明治学院大学）

PB03
セルフモニタリング能力はサーフィン競技者にどのような影響を与えるか？　澤田　七奈緒　（法政大学大学院）

PB04
トラウマを抱えながら生きる―対人暴力被害による複雑性PTSDはQOLの低下を招くのか―　豊田　隼　（東京大学大学院、日本学術振興会）

PB05
柔道熟練者における組み手争い時の視線行動と組み手の巧拙の関係　木島　悠人　（筑波大学）

PB06
大学生アスリートにおける日記コードの変容ステージの実態　橋本　涼加　（トヨタ自動車）
荒井　弘和　（法政大学）

PB07
サッカーのPenalty Kickにおけるプレッシャーが視線行動，キック動作に及ぼす影響　大嶋　拓　（広島大学大学院）
関矢　寛史　（広島大学）

PB08
オーバートレーニング症候群の回復過程における生理的指標とナラティブの相補的分析
草薙　健太（中京大学）

PB09
記録の伸び悩みに対する心理的支援について―女子長距離選手に注目して―
樺沢　帆乃佳（東京女子大学大学院）
森田　慎一郎（東京女子大学・非会員）

PB10
高校生バレーボール選手のマインドフルネス特性と試合中のフロー経験との関連
西村　久美子（若狭医療福祉専門学校）
田中　美吏（武庫川女子大学）
稲田　愛子（広島大学大学院）

PB11
ゴルファーの「競技パフォーマンス場面」「競技生活場面」におけるレジリエンスの特徴の探索―レジリエンスと競技レベルの関係に着目して―
尾上　志温（立命館大学大学院）
笹塲　育子（立命館大学）

PB12
女性アスリートの過剰適応傾向が不健康な食行動を強いる指導者の言動に対する容認態度に与える影響性の検討
煙山　千尋（岐阜聖徳学園大学）
尼崎　光洋（愛知大学）

PB13
女性アスリート版月経随伴症状対処行動尺度の作成
山本　幸穂（筑波大学大学院）
雨宮　怜（筑波大学）

PB14
日本語版 Sport Gratitude Questionnaire (GQ-S) の妥当性の検証
久保　昂大（熊本学園大学）
相羽　枝莉子（横浜国立大学）
杉山　佳生（九州大学）

PB15
ウエイトリフティング選手と大学生アスリートの競技不安の差異に関する検討
鶴田　幸大（法政大学大学院）
時田　晃佑（法政大学大学院）
中澤　史（法政大学）

PB16
エキスパートコーチはいかにして指導哲学を構築するのか？ –U18 年代チームスポーツ指導者を対象とした事例研究④–
堀野　博幸　（早稲田大学）

PB17
競馬に携わる牧場スタッフの「継続」の心理的要因–半構造化インタビューによる探索–
南　元彦　（北翔大学大学院）
畝中　智志　（北翔大学）

PB18
大学体育授業におけるボールゲームへの参加が学生の気分に与える影響
益川　満治　（日本大学大学院、弘前大学）

PB19
バランス課題における異なる内的焦点が運動学習に及ぼす影響
岩堀　剛己　（同志社大学大学院）
石倉　忠夫　（同志社大学）

PB20
審判員における非言語的コミュニケーションスキルの検討
村上　貴聡　（東京理科大学）
阿部　成雄　（法政大学）
立谷　泰久　（国立スポーツ科学センター）

PB21
大学生アスリートのバーンアウト傾向とレジリエンスの性別および競技別比較
樋浦　七海　（天理大学大学院）
西田　円　（天理大学）

PB22
被体罰経験はイップス発現のリスク要因になりうるのか―野球競技を対象にしたロジスティック回帰分析による検討―
池田　和司　（日本経済大学）

PB23
学生競技者の試合における達成目標プロファイルは主観的なプレッシャーや実力発揮度とどのように関係するか？
周藤　玲奈　（広島大学大学院）
西村　茉莉　（広島大学大学院・非会員）
大嶋　拓　（広島大学大学院）
関矢　寛史　（広島大学）

PB24

予告期間の長さの不確実性が明かす身体性知能−リーチング動作に現れる反応の柔軟性−	若月　翼	（東京農工大学）
	山田　憲政	（中京大学）

PB25

高い特性不安を持つアスリートは どのような脳内情報処理過程を経てパフォーマンスを発揮するのか	渡邊　浩輝	（大阪体育大学大学院）
	有井　大芽	（武庫川女子大学）
	菅生　貴之	（大阪体育大学）
	土屋　裕睦	（大阪体育大学）

PB26

身体所有感の個人差とフリースロー予測精度の関連	畝中　智志	（北翔大学）

PB27

アスリートが怒られたと認識する指導者からのコーチング行動 −インタビュー調査を用いた探索的検討−	三浦　涼	（筑波大学大学院）
	雨宮　怜	（筑波大学）

PB28

タイムプレッシャーの強度が精神的負担に及ぼす影響−タスクスイッチング課題による検討−	大久保　瞳	（日本体育大学）
	高井　秀明	（日本体育大学）

PB29

大学競泳選手の自己調整学習方略の個人差要因の検討	髙井　美莉衣	（日本大学大学院）

PB30

スポーツ場面における退屈感が自己調整学習に及ぼす影響の検討	高木　悠哉	（森ノ宮医療大学）
	清野　宏樹	（桃山学院大学）

PB31

高校野球選手における競技生活に伴う強いストレス体験に関する特徴	大石　達也	（日本体育大学大学院）
	高井　秀明	（日本体育大学）

PB32

大学生駅伝選手に対するマインドフルネス・プログラムの効果–不眠症状ならびに破局的思考に対する準実験的デザインに基づく検討–

雨宮　怜　（筑波大学）
伊藤　萌々子　（筑波大学大学院）
八斗　啓悟　（筑波大学大学院、日本学術振興会）

PB33

判断時のバイアスは動作に影響するのか ―左右の呈示比率がステップ反応に及ぼす影響―

三枝　徹平　（筑波大学大学院）
上野　壮士朗　（筑波大学大学院）
近藤　克磨　（筑波大学大学院）
國部　雅大　（筑波大学）

PB34

LEAF-Q 日本語版作成および適用可能性の検討 －女子大学生アスリートを対象として－

山中　恕　（大阪産業大学）
竹中　優子　（大阪体育大学・非会員）
土屋　裕睦　（大阪体育大学）

PB35

個人特性に基づくトレーニング周波数が両手協調の安定性向上に及ぼす効果

東　香寿美　（東京大学大学院）
宮田　紘平　（理化学研究所・非会員）
工藤　和俊　（東京大学大学院）

PB36

特性的・状況的セルフハンディキャッピングが運動パフォーマンスに及ぼす影響

須﨑　康臣　（島根大学）
中須賀　巧　（兵庫教育大学）
松田　晃二郎　（城西大学）
工藤　慈士　（びわこ成蹊スポーツ大学）

PB37

VR 環境下におけるキャッチ動作のタイミング特性と前庭感覚の関連

原薗　迪子　（東京都立大学大学院）
中本　浩揮　（鹿屋体育大学）
樋口　貴広　（東京都立大学大学院）

PB38

Quiet Eye トレーニングと反復把握法がバスケットボールのフリースローパフォーマンスに及ぼす影響

吉川　直輝　（松山大学）
正木　宏明　（早稲田大学）

PB39

大学生アスリートの完全主義の認知と他者からのコンパッションへの恐れ，メンタルヘルスとの関連

佃　透唯　（日本体育大学大学院）
高井　秀明　（日本体育大学）

PB40

自己批判はアスリートの足かせか、それとも推進力か？- メンタルヘルスと主観的パフォーマンスに着目して-

本郷　由貴　（国立スポーツ科学センター、筑波大学）
高井　秀明　（日本体育大学）

PB41

チアダンス初心者における笑顔指導が心理的変容に与える影響 -自己効力感と達成感に着目して-

本間　涼花　（北翔大学大学院）

PB42

連続視覚運動中の瞳孔変動と課題パフォーマンスの関係

青山　千紗　（大阪大学）
七五三木　聡　（大阪大学）

PB43

試合出場機会の違いからみるケガ後のモチベーション―指導者の声掛けの違いに着目して―

生天目　陸　（北翔大学大学院）
畝中　智志　（北翔大学）

PB44

プロサッカー選手のリーグ戦に伴う気分の変化

高井　秀明　（日本体育大学）
北橋　達朗　（日本体育大学）

PB45

ソーシャルサポートの提供と受領が青年期アスリートのメンタルヘルスとチームワークの変化に及ぼす影響

中嶋　希和　（筑波大学大学院）
雨宮　怜　（筑波大学）

PB46

トップアスリートに必要な心理的能力を向上させる方略の検討 –アスリートへのインタビュー調査を通して–

宇土　昌志　（宮崎大学）
立谷　泰久　（国立スポーツ科学センター）
村上　貴聡　（東京理科大学）
平木　貴子　（日本大学）
荒井　弘和　（法政大学）

PB47

大学サッカー選手のホームアドバンテージ獲得に影響する要因に関する研究

柴田　淳廉　（日本大学大学院）
田島　勇人　（日本大学大学院）
持田　慶貴　（日本大学大学院）
髙橋　正則　（日本大学）

PB48

ヨーガによる内的変容を促進する体験過程の分析―ヨーガ体験のふりかえりシートを用いて―

谷内　花恵　（国士舘大学）

PB49

サッカーにおける「あがり」の有効的な対策方法に関する研究

児玉　遥太　（東洋大学大学院）
加藤　千恵子　（東洋大学）

運営組織

日本スポーツ心理学会第 52 回大会実行委員会

大会実行委員長	石倉　忠夫	（同志社大学）
大会事務局長	廣光　佑哉	（大阪電気通信大学）
大会実行委員	相川　昌巳	（京都トレーニングセンター）
	船江　美香	（京都トレーニングセンター）
	片上　絵梨子	（共立女子大学）
	近藤　みどり	（国立スポーツ科学センター）
	久代　恵介	（京都大学）
	西田　円	（天理大学）
	鈴木　啓央	（龍谷大学）
	手塚　洋介	（大阪体育大学）
	藪中　佑樹	（龍谷大学）
	山本　真史	（日本福祉大学）
学生大会実行委員	本田　夕海	（同志社大学大学院）
	岩堀　剛己	（同志社大学大学院）
	川本　弥由	（同志社大学大学院）
	藤井　俊輔	（同志社大学大学院）
	奥内　蒼馬	（京都大学大学院）
	辻出　蒼馬	（天理大学大学院）
	樋浦　七海	（天理大学大学院）
	川村　亮太	（大阪体育大学大学院）
	髙石　菜摘	（大阪体育大学大学院）
	黒木　彩未	（大阪体育大学大学院）
	加藤　憲	（大阪体育大学大学院）
	渡邊　浩輝	（大阪体育大学大学院）

大会事務局　　同志社大学スポーツ健康科学部　石倉忠夫研究室内
〒610-0394　京都府京田辺市多々羅都谷 1-3　同志社大学磐上館
問い合わせ先　　電話番号：082-424-6587　　E-mail：conf@jssp.jp

大会協賛企業等ご芳名

株式会社 YKC
株式会社デジタルメディック
株式会社トーヨーフィジカル
株式会社金子書房
株式会社大修館書店
日本アプライドスポーツ科学会
株式会社フォーアシスト
キッセイコムテック株式会社
日本福祉大学スポーツ科学研究科
ゼロシーセブン株式会社
株式会社テキスト
ニホンサンテク株式会社
株式会社 NAMOTO
株式会社ディテクト
株式会社文成印刷
同志社大学スポーツ健康科学会

本大会を開催するにあたり、上記の方々より多大なご支援を頂きました。ここにご芳名を記して、感謝の意を表します。

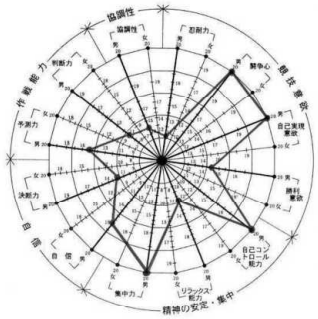
日本スポーツ心理学会第 52 回大会実行委員長
同志社大学　石倉忠夫

オンライン版 心理検査

TOYO PHYSICAL

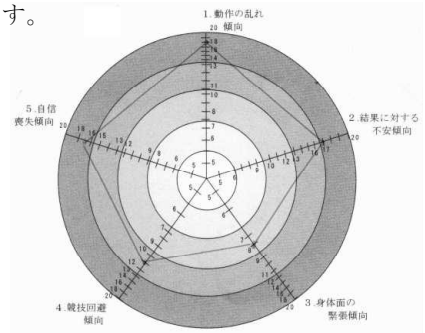
心理的競技能力診断検査 DIPCA.3 オンライン版

スポーツ選手の一般的な心理的傾向としての心理的競技能力を１２の内容に分けて診断。スポーツ選手としての心理面の長所・短所を診断できます。メンタルトレーニングの第１歩として。



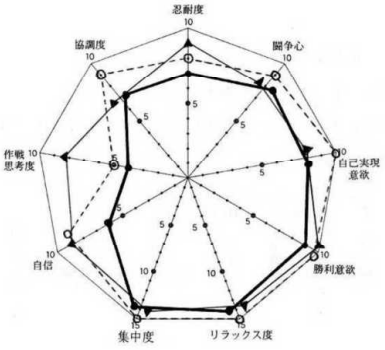
スポーツ特性－状態不安診断検査 TAIS.2&SAIS.2 オンライン版

TAISは試合前になると一般的に不安になりやすいかどうかの傾向をみるものです。SAISは試合直前に実際に不安になっているかをみるものです。いずれも不安に陥りやすい程度と不安の内容を調べ、今後の練習や試合に役立てます。



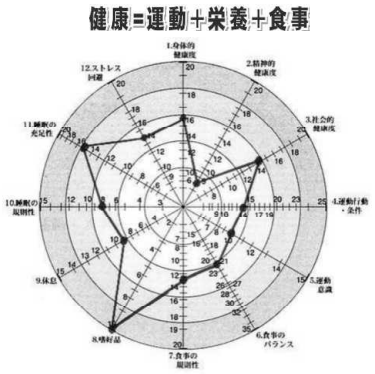
試合前の心理状態診断検査 DIPS-B.1 オンライン版

試合に向けて十分な心理的準備ができているかをチェックし、心理的コンディショニングを指導できます。



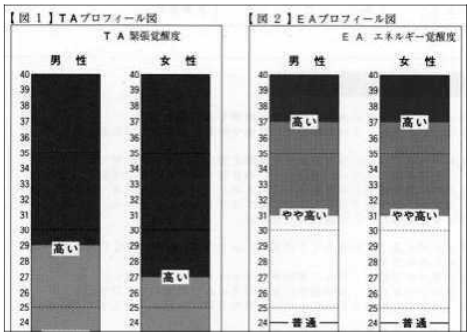
健康度・生活習慣診断検査 DIHAL.2 オンライン版

健康度および生活習慣としての運動、食事、休養を同時に診断し、健康指導の参考にするために作成されました。



日本語版UWIST気分チェックリスト JUMACL オンライン版

現在のあなたの気分や感情を検査します。そのときの覚醒状態を測るものですので同じ人でも状況によって変化します。（性格などの指標と違って安定的な傾向を示すものではありません。）



子ども版 表情認知検査 オンライン版

子どもの顔に対する表情認知能力を測定します。子どもの表情写真を見て、「よろこび・いかり・おどろき・かなしみ・まがお」のどの表情かを回答します。検査問題の表情写真は、実際の子どもの写真で男女２名ずつの実際の顔写真を使用。男性と女性の顔の両方が使用されているので同性あるいは異性の顔でどう異なるかを見ることができます。練習→課題1→課題２→課題３→課題４の順に進めます。検査時間：約１５分

－用途－

- ●表情認知能力の個人差の測定
- ●表情認知能力の発達的変化の測定

スポーツ選手メンタル強化の検査用紙

DIPCA.3 心理的競技能力診断検査
※外国語版あり(英・仏・露・台湾・中国・韓国・スエーデン・ポルトガル)
TAIS.2&SAIS.2 スポーツ特性－状態不安診断検査
DIPS-B.1 試合前の心理状態診断検査
DIPS-D.2 試合中の心理状態診断検査
MTCA.3 スポーツ選手のメンタルトレーニングカード
TMTC.1 テニスのメンタルトレーニングカード
MTG.1 ゴルフのメンタルテスト
ゴルフのメンタルスキル診断表
メンタルゴルフ手帳

「T.T式メンタルトレーニングの進め方 **改訂版**
－動きを直せば、心は変わる－
～心理的競技能力診断検査の手引き～」

健康・心理検査用紙

新ストループ検査Ⅰ　新ストループ検査Ⅱ
「新ストループで何がわかるか
－新ストループ検査Ⅰ・Ⅱ解説書－」

動作法評価検査票　動作法評価検査解説書
表情認知検査(子ども版／成人版)
情動的知能質問紙　(小学3年～中学3年生)
ストレス対処法質問紙（小学3年～中学3年生）
日本語版UWIST気分チェックリスト　JUMACL
複合数字抹消検査　CDCT
健康度・生活習慣診断検査　DIHAL.2
スポーツ行動診断検査　DISC.5
精神的健康パターン診断検査　MHP.1
健康度診断検査

TOYO PHYSICAL
株式会社トーヨーフィジカル　http://www.toyophysical.co.jp
〒810-0014 福岡市中央区平尾3-7-21圓ビル　TEL：092-522-2922 FAX：092-522-2933

◆マーカーレスモーションキャプチャ　Theia Markerless

THEIA Markerless

マーカー不要な3次元モーションキャプチャ

システムで使用できるカメラは複数種類あり

低価格構成も組むことが可能です!!

◆マルチタイム計測システム　FMT シリーズ

ジャンプ計測・タイム計測・全身反応計測

計測内容に合わせて各種センサー・光刺激等の装置を組み合わせて、

様々な計測ができる汎用性の高いタイムカウンタシステムです。

4 Assist　株式会社フォーアシスト

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-17-14　北の丸ビル2F
TEL: 03-3293-7555　　FAX: 03-3293-7556
e-mail : info@4assist.co.jp
http://www.4assist.co.jp

学会HP

日本アプライドスポーツ科学会

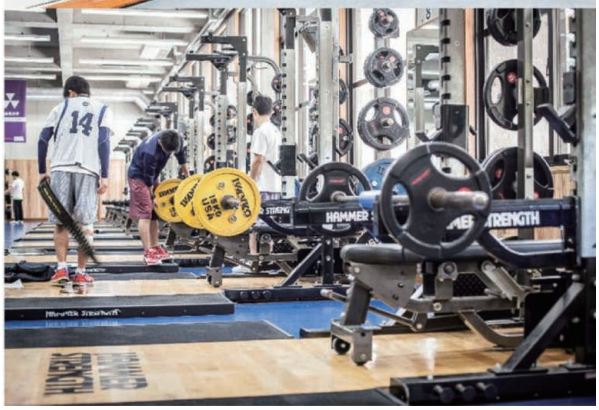
Japan Society of Applied Sport Sciences

多領域からのアプローチを駆使した“応用力”を生かし,
身体運動および体育学・スポーツ科学を研究するとともに,
スポーツと共生する社会の発展に寄与することを目指します。

オンラインジャーナル [ISSN:2758-0598]
“アプライドスポーツサイエンス”の発刊
(J-STAGEにて公開中)

オンライン&対面形式による
学会大会の開催
(第5回大会・2026年1月開催予定)

日本アプライドスポーツ科学会事務局　日本大学商学部
〒157-8570 東京都世田谷区砧5-2-1　E-mail：info@js-ass.jp



同志社大学

■ スポーツ健康科学部/スポーツ健康科学研究科（博士前期課程・博士後期課程）

https://sports.doshisha.ac.jp/　　https://sports.doshisha.ac.jp/graduate/index.html

■ スポーツ健康科学会

https://sports.doshisha.ac.jp/guardian/overview/overview.html

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3　　TEL: 0774-65-6030

曖昧を見える化 ⇒ 生理指標の客観化

HRV 自律神経の状態を 客観的に 評価

自律神経バランス分析 令和モデル

TAS9VIEW タスナインビュー

「TAS9VIEW」は
心拍（脈拍）変動を時間領域と周波数領域で分析
心身の状態や介入前後の変化などを客観的に数値化
（LF・HF・LF/HF など）

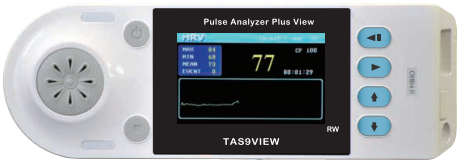
交感・副交感神経のバランス

交感・副交感神経活性レベル

医療機関 研究機関 最多の実績

自律神経活動レベル

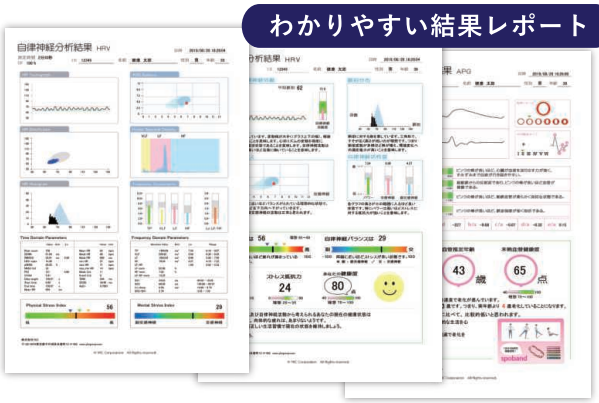
肉体的疲労度



「TAS9VIEW<RW>」の特長

- **1台で HRV・APG 同時測定・出力**
  自律神経分析（HRV）と血管老化度（APG）
- **コンパクトサイズ・操作も簡単**
  持ち運びが容易、使いやすいソフト
- **充実したデータベース**
  履歴管理やデータ統合、データエクセルへ簡単変換
  生のデータも出力可能（ RRI、APG、PPG ）
- **本体のみでも測定・保存可能**
  本体メモリーに保存、測定後に PC へ移動・統合が可能

わかりやすい結果レポート



心拍から自律神経の現状を可視化！データ分析がもっとしやすくなりました！
国内外の多数の論文も発表されています。
様々なヒトを対象とする研究においての生理評価ツールとしてご活用できます。

TAS9VIEW 詳細

ストレス・免疫を唾液で簡単分析

約10分※で分析結果がでます！

※デュアルは約 15 分

今までにはない
現場で使いやすい！

SOMA Cube Reader

唾液中ストレスマーカー分析装置

唾液マーカーで４つのパラメーターを分析

コルチゾール　IgA　IgG　アミラーゼ

※各項目別の測定キットとなります。
※２項目同時に測定できるデュアル測定キットもあります。

手のひらサイズでコンパクト！
いつでもどこでも、その場ですぐ結果がわかる！

非侵襲　無 痛　簡 単

英国SOMA社で開発された「CUBE Reader」
欧米ではプロスポーツのストレスチェック、体調管理目的など幅広く使用されています。

Cube Reader 詳細

お問合せ 株式会社YKC
詳しくは WEB で www.ykcgroup.com

〒102-0076 東京都千代田区五番町12-4 4F
mail@ykcgroup.com www.ykcgroup.com
TEL：03-3239-8431 FAX：03-3239-8432